

麻しん (はしか) から 子どもを守る



5歳未満のお子さんの麻しんワクチン接種はお済みですか。

- ・麻しん (はしか) は軽く考えるべきではなく、5歳未満の乳幼児には特に注意が必要です。
- ・麻しんウイルスは感染力が強く、肺炎や脳炎などの命にかかわる合併症を引き起こすことがあります。
- ・発症者10人当たり1人が入院治療を必要とします。
- ・死亡するケースもわずかながらあります。
- ・十分な免疫を獲得するには、2回の予防接種が必要です。
- ・1回目は生後12カ月、2回目は生後15カ月に接種を受けます。
- ・生後15カ月を過ぎたお子さんの2回接種が済んでいない場合は、かかりつけの医師や看護師にご相談ください。

麻しん (はしか) とは

- ・麻しん (はしか) は、麻しんウイルスによって引き起こされる感染力の強い感染症です。
- ・くしゃみや咳による飛沫感染でヒトからヒトへ感染が伝播します。
- ・感染すると発熱や咳・鼻水・目の充血といった風邪のような症状が現れた後、顔に出現した発疹が全身に広がります。

麻しんワクチンの効果

- ・麻しんワクチン (別名:MMRワクチン、新三種混合ワクチン) は、お子さんを麻しん・おたふくかぜ・風しんから守ります。
- ・ワクチン接種は有効な予防法です。1回目の接種で約95%の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得し、2回目の接種でその数は99%以上に達します。

予防接種歴を確認する方法

- ・お子さんの予防接種歴は、プランケットから配布された冊子「New Zealand Well Child Tamariki Ora」に記載されています。あるいは、かかりつけの医師にお問い合わせください。

麻しんワクチンの副反応

- ワクチン接種後に頭痛・発熱・吐き気・身体の不調・倦怠感を訴えるケースがわずかながらあります。
- 発疹が出現する場合があります。
- ほとんどの副反応は1～2日で治ります。

5歳以上の未接種者が接種を受けるには…

- 5歳以上でも、何らかの理由で麻しんワクチンを接種していない人はいます。特に、諸外国から移住してきた若者の中には未接種者が見られます。
- 麻しんウイルスは感染力が非常に強く、急性の感染症を引き起こすため、未接種の方は年齢にかかわらず、予防接種を受けてください。
- 予防接種歴が不明の方は、かかりつけの医師に問い合わせましょう。

予防接種は無料で手続きも簡単

- かかりつけの診療所でお子さんの無料接種を受けられます。
- 多くの薬局でも麻しんワクチン接種を実施しています。



詳しくは、かかりつけの医師、Well Child Tamariki Oraの看護師、最寄りの薬局にお問い合わせください。

www.health.govt.nz/children-measles、
又はヘルスライン (0800 611 116) でも詳細
を確認できます。